



esperanza
CP SOCCER & LIFE

2019年度活動報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

特定非営利活動法人CPサッカー＆ライフ エスペランサ

2019年度総括



2019年度は、「パラスポーツ」、「発達支援」、「生涯スポーツ」、「女性の活躍」をテーマに、女子CPサッカーチーム、知的・発達障がい児者を対象としたカテゴリー、健常者と障がいのある選手によるチーム新設への準備、誰もがサッカーに参加する機会をつくるためのフレームフットボール教室（歩行器を使用したサッカー）より広くCPサッカーを広めるための一般のチームを対象としたソサイチ大会を開催しました。

パラスポーツ

CPサッカーをパラリンピック種目にすることを目指し、各障がい者サッカー日本代表選手の輩出やイベント・大会等を通じて、障がいスポーツの認知向上に努める。

発達支援

サッカーを通して、障がいのある子どもたちの体力の向上、コミュニケーション能力や協調性、チャレンジ精神などを養い将来的な自立をサポートする。

生涯スポーツ

障がいの有無関係なく、サッカーをいつでもどこでも親しみやすいスポーツとして楽しめる環境をつくる。

女性の活躍

パラスポーツで女性選手が活躍できる場を提供していく。



CPサッカーチームの運営（クラブ活動）

60名のクラブ員を、年齢ごとに3つのカテゴリー（成人・ジュニア・キッズ）にわけて、練習会の開催や大会・イベントへの参加を行いました。また、女子カテゴリー、知的・発達障がいカテゴリーの準備を進め、新しいメンバーが加わった1年となりました。

活動回数：102回 参加人数：延1069人

主な活動

- ✓ クラブ練習
- ✓ コパあらかわフットサル大会
- ✓ 今治遠征（バリカップ出場）
- ✓ 第19回CPサッカー全日本選手権大会 優勝





今治遠征バリカップ

エスペランサ・ジュニアチームを中心に、昨年につき、BARICUPへ参加しました。初めての遠征、1人での移動、初めての試合の経験等、サッカーだけでなく、社会経験の場ともなりました。

日 時：2019年8月23日～25日

会 場：桜井海浜ふれあい広場

内 容：バリカップ (U12)への参加

参加者：18名

(選手11名/スタッフ4名/サポーター3名)





CPサッカー普及サッカー大会

CPサッカーの普及と認知度の向上を目的に、一般のサッカー・フットサル・ソサイチ愛好チームを対象にした、7人制サッカー大会（ソサイチ）を開催しました。
大会内では、CPサッカー選手によるCPサッカーのデモンストレーションや体験会を実施し一緒にプレーすることで、CPサッカーへの理解を深めてもらう機会としました。

◆実施日・会場と参加チーム数

日にち	時間	会場	チーム数	チーム名		
9月23日	13:00~16:00	フットサルステージ（東京・多摩市）	3	しぶやさんず	FSC	じんJIN
9月29日	12:00~15:30	アオバスカイフィールド（横浜市港北区）	2	普段通	2020	
10月20日	12:00~15:30	アオバスカイフィールド（横浜市港北区）	2	ファランドール	2020	
10月27日	12:00~15:30	アオバスカイフィールド（横浜市港北区）	3	Pannacotta	アミティエ	フンテラール
12月15日	12:00~16:00	フットサルステージ（東京・多摩市）	6	そのべーず	パドレ	全農サッカー部
				MGホワイト	FJ-Agri	AC FALLA
2月16日	12:00~16:00	フットサルステージ（東京・多摩市）	3	宮寺ユナイテッド	アウボ	MATTIFORSI MIX
3月15日	12:00~16:00	フットサルステージ（東京・多摩市）	2	やなG	KAMIJO	
		合計	21			



フレームフットボール教室

スポーツ振興くじ助成事業として、フレームフットボール教室を開催しました。東京を中心に、千葉や埼玉、遠くは大阪からの参加もありました。

実施日		実施会場	参加数
11月2日	Ⓜ	フットサルステージ (東京都多摩市)	5
12月15日	Ⓜ		10
1月19日	Ⓜ		9
2月16日	Ⓜ		10
合計			34

プログラム①「ウォームアップ」



- ・コートを広く使い、たくさん走ります。
- ・フレームの動きになれるように自分のペースで往復しています。

フレームの準備

・フレームを使う子供たちに合わせてサイズ変更します。

・1台4～5分で準備ができます。



プログラム②「フィジカルトレーニング」



- ・フレームを支えている上半身のトレーニングをします。
- ・腕や肩を動かすトレーニングをしています。



Frame Football Clinic



フレームフットボール教室



プログラム③「ボールタッチ」



- ・ フレームを使いながらボールタッチします。
- ・ 足の裏を使ってボール保持の練習をしました。
- ・ フレームに当たらないようにするのが大変。

プログラム⑤「試合（ミニゲーム）」



- ・ 2チームに分かれて10分ハーフのミニゲームをしました。
- ・ 得点が生まれる白熱した試合になりました。

プログラム④「ドリブルとシュート」



- ・ フリドリブルと、ゴールに向かってシュート練習。
- ・ フレームを動かしながらのドリブルはかなり難しい。

集合写真





{NEWS}

フレームフットボールに チャレンジング!

～しょうがいがあっても参加できるスポーツ～



2019年2月、国内で初めて障害で歩行に杖や補助具が必要な人でも参加できる「フレームフットボール」の体験会が開催された。

主催であるNPO法人CPサッカー&ライフエスぺランザが、フレームフットボールの発案者であるサム・ターナー氏（国際脳性麻痺フットボール連盟）をイングランドから招待し、フレームフットボールのルールや歴史を学ぶ講習会から始まった。

サム氏は、スポーツの魅力子どもたちに伝え、結果的に身体機能の向上につながるよう指導しているという。リハで動作訓練をするより

も、フレームフットボールを体験することによって、自然と子ども達には「サッカーがもっとうまくになりたい」「サッカー選手になりたい」というごく普通の気持ちが生まれる。

最初は固かった表情の子どもたちだが、身体を動かし、ボールに触れることで自然と笑顔になり、積極的にボールを追いかけ、ゴールに向かう姿が見られた。大人が促す運動では得られない、自発的な行動が子どもたちの気持ちの変化をうかがわせた。これがスポーツの魅力だろう。今後もこのフレームフットボールの競技が日本中に広がることを願う。

小児リハビリテーション 2019.6(vol.04)

フレームフットボールは

2014年、イングランドで、**日常歩行器を使用し移動が困難な障がいがある子どもたち**のスポーツとして誕生した**5人制のサッカー**です。

発祥の地、イングランドでは、**イングランドサッカー協会（FA）のグラスルーツプログラム**の承認を受けて、現在は、フレームサッカー用の歩行器が開発され、**全国に約20の活動拠点**（チーム）が誕生しています。また、**スコットランド、アイルランド、北アイルランド、オランダ、マルタ、ドイツ、マレーシア、オーストラリア、ブラジル・・・**と、世界に広がりつつある、**これからのパラスポーツ**のひとつです。

対象：自力での移動が困難な脳性麻痺を中心とした肢体不自由児者

- ⊕ 5人制
- ⊕ オフサイドはなし
- ⊕ フットサルボールを推奨
- ⊕ ピッチ、ゴールサイズは、年齢と障がいのレベルに応じて調整する
- ⊕ 試合は、2ピリオド又は4ピリオド制。長さは、年齢と障がいのレベルに応じて調整する
- ⊕ リスタートはキックイン
- ⊕ 2-on-1 ルール

パラスポーツ体験授業



来年に開催される東京パラリンピックへ向けて、パラスポーツを通じて、障がいのある人たちへの理解を深め、障がいの有無、性別、能力など、他者との違いを認め、多様性を理解へつなげることを目的に、CPサッカーを活用したコミュニケーションワークやパラリンピック・障がい理解に関する講義を行いました。

実施校

2019年11月19日 西御幸小学校
参加人数：55人
2020年 1月13日 幸高校+総合科学高校（サッカー部）
参加人数：15人

実施メンバー



上智大学 GoBeyond 学生メンバー



パラSCエスぺランサ スタッフ



CPサッカー日本代表選手



CPサッカーチームエスぺランサ選手・コーチ

実施内容

- 1) 講義：
 - ①パラリンピック種目数、パラサッカーについて
 - ②CPサッカー選手への質疑応答
- 2) 実技：Roleサッカー（CPサッカー体験：CPサッカーの要素を活用したそれぞれの役割の中でプレーするサッカー）
- 3) まとめ：身近にある障害、障がいを考える（パラスポーツビデオ学習、寸劇、街のマーク）

